

目次

第1章 RESAS概要

1-1 地域経済分析システム（RESAS）とは

1-2 RESASの特徴

1-3 RESASでわかること

第2章 各マップの機能と分析方法

2-1 マップ一覧

2-2 各マップを使った分析方法

2-3 人口マップ

2-4 観光マップ

2-5 地域経済循環マップ

2-6 産業構造マップ

第3章 RESASの活用事例

3-1 データ分析支援

3-2 V-RESAS

3-3 地方創成☆政策アイデアコンテスト



第1章 RESAS概要

1-1 地域経済分析システム (RESAS) とは

RESAS : Regional Economy Society Analyzing System

- ▶ 人口動態や産業構造、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステム
- ▶ 国が地域経済に係わる様々なビッグデータを収集し、客観的なデータの取得・分析を容易にすることで、真に効果的な政策や事業の立案、実行、検証（PDCA）を支援することを目的に、平成27年4月より運用を開始。



1-1 地域経済分析システム (RESAS) とは

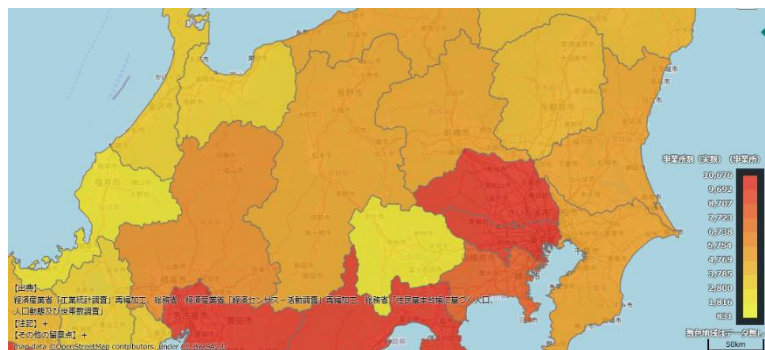
- ▶ パソコンやスマートフォンのブラウザ (Google Chrome推奨) を通じていつでも、何処でも、誰でも閲覧可能。
- ▶ 公的なデータ (国勢調査、経済センサス、農林業センサス等) のみならず、民間企業のデータも搭載。
(例: 目的地分析ーナビタイムジャパン)
- ▶ 最新性及びニーズ等を重視し、データ・機能は随時更新・追加されている。
(例: 令和2年度にV-RESAS追加)



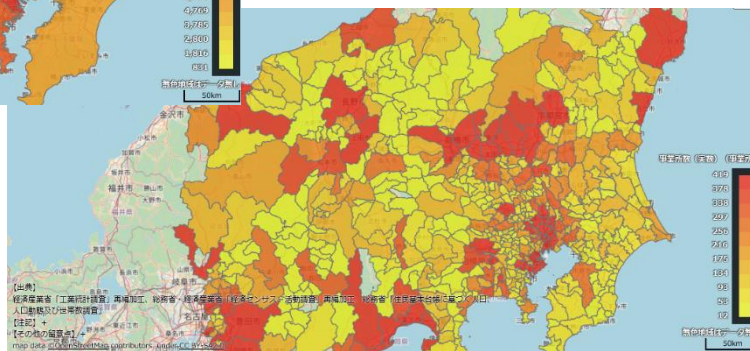
1-2 RESASの特徴

データ表示単位

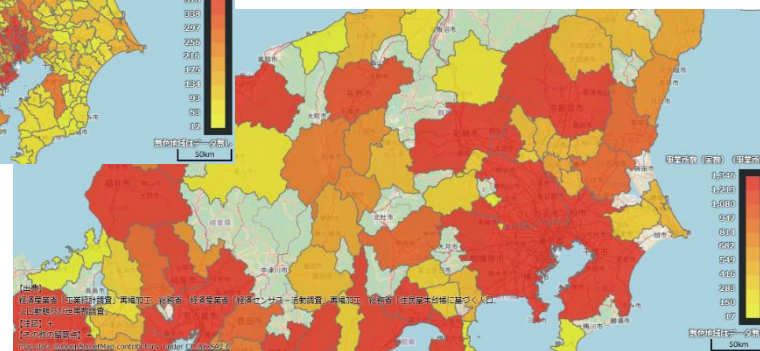
- ▶ 様々な行政単位（都道府県、市町村、その他（地方、経済圏、医療圏など））でデータを閲覧可能。



都道府県



市町村

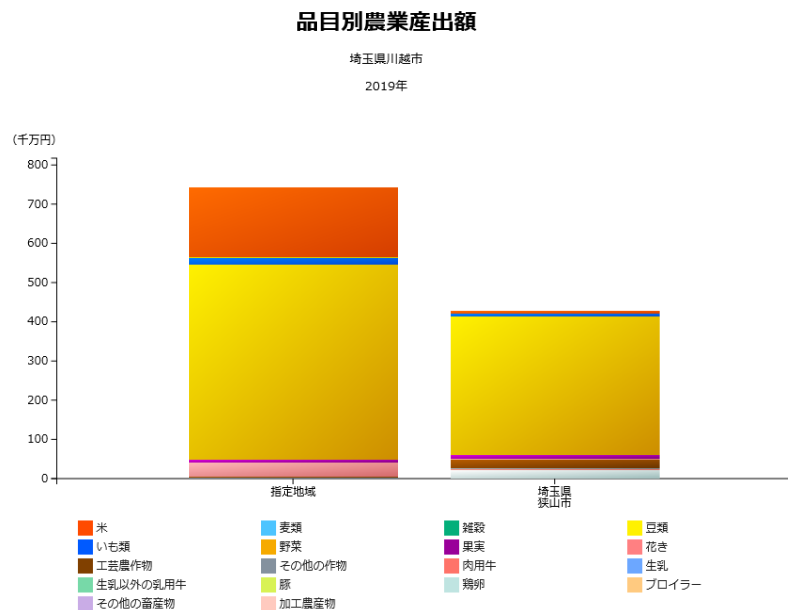


経済圏

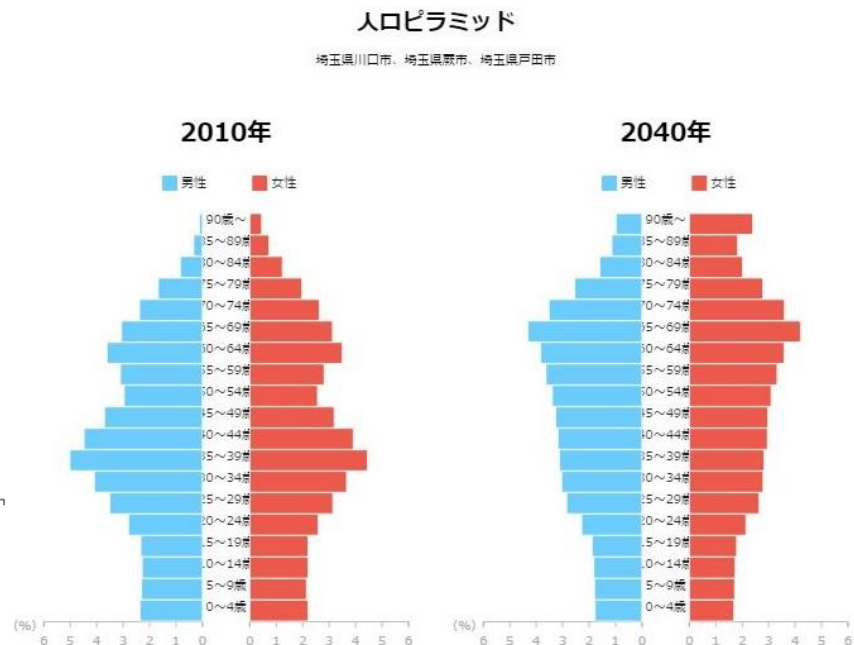
1-2 RESASの特徴

データの比較(1)

- ▶ 自治体間比較や自治体を超えた圏域（例：県内の地域振興センター）単位でのデータ合算が可能。



比較例
(川越市・狭山市)



合算例
(南部地域(川口市・蕨市・戸田市))

1-2 RESASの特徴

データの比較(2)

- ▶ 時系列での比較が可能。

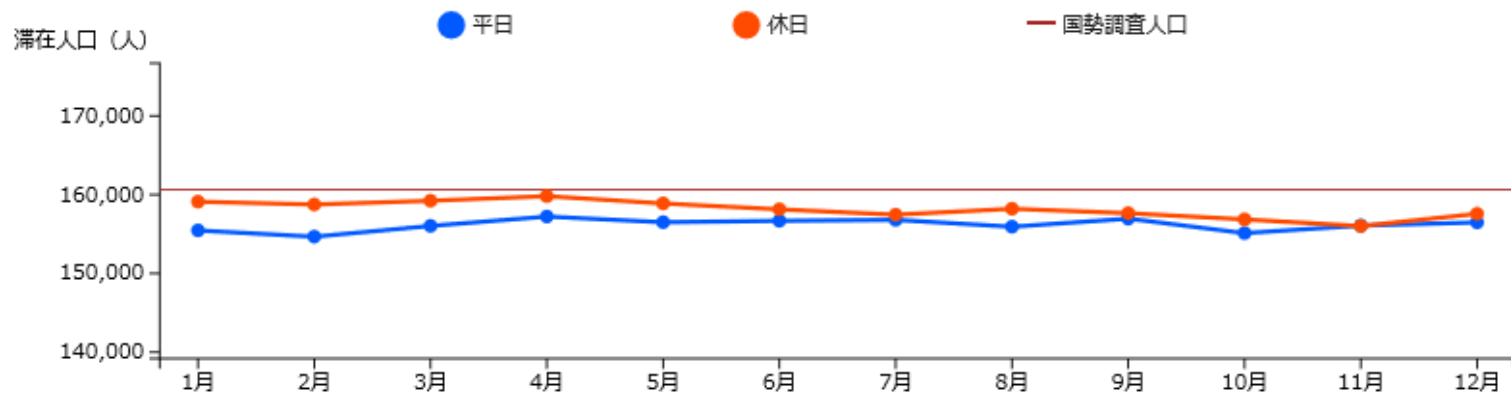
滞在人口の月別推移

埼玉県熊谷市

2020年 14時

総数 総数 (15歳以上80歳未満)

(国勢調査人口: 160,617人)



【出典】

株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」

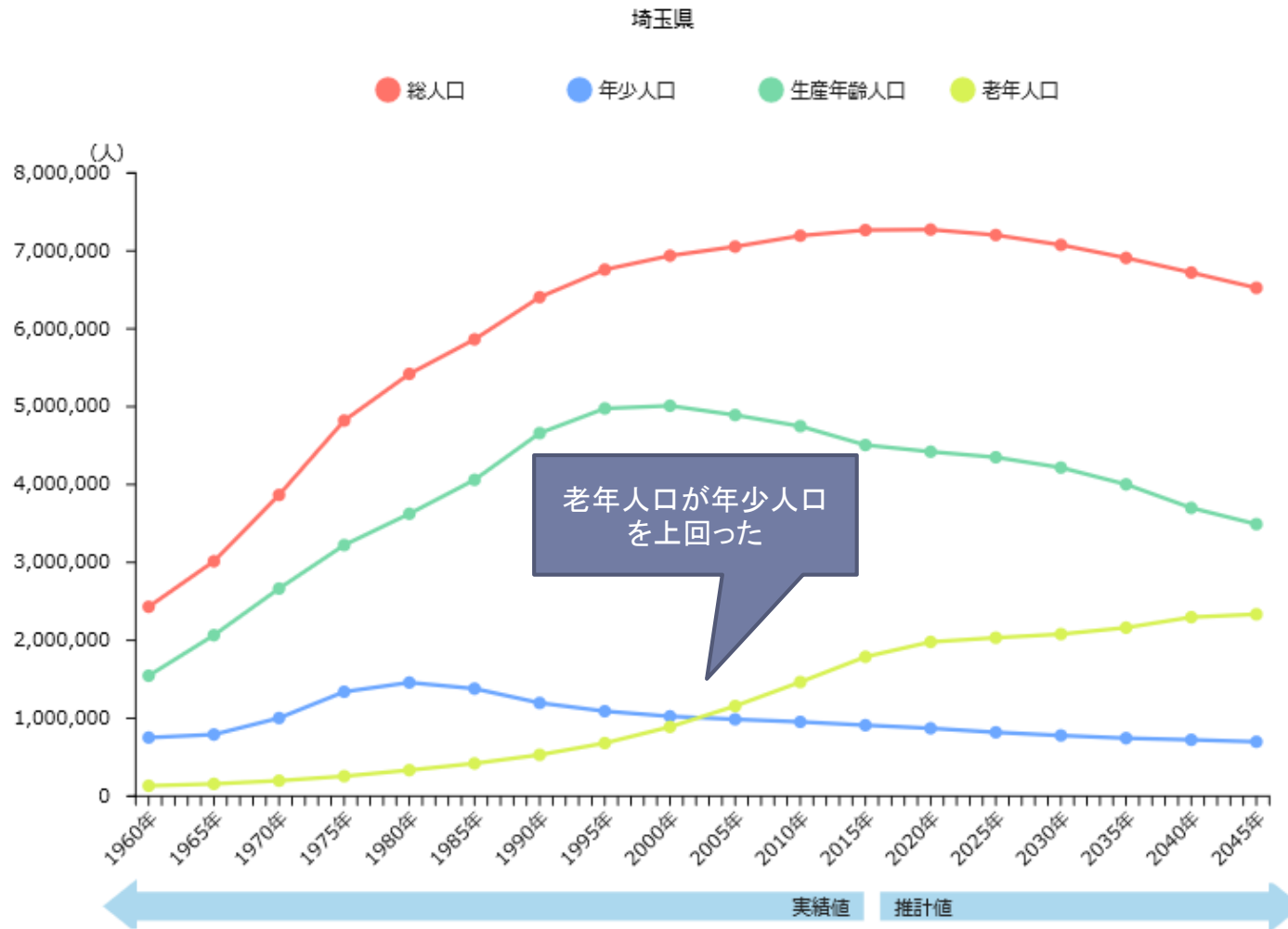
総務省「平成27年国勢調査」

滞在人口の時系列比較(熊谷市)

1-3 RESASでわかること

RESASによる埼玉県の概況（人口）

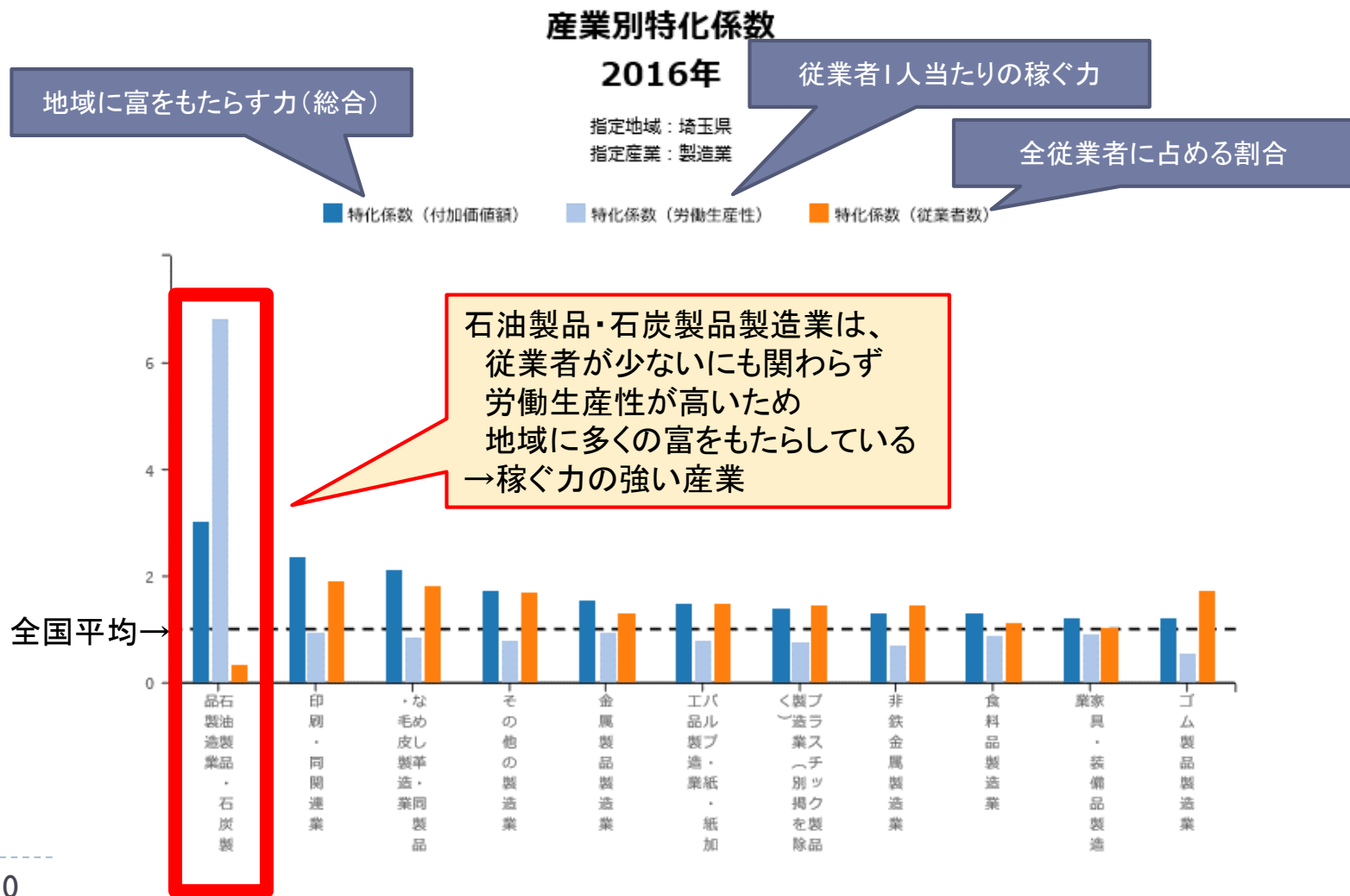
▶ 現在及び将来の人口構成（人口マップ（人口構成））



1-3 RESASでわかること

RESASによる埼玉県の概況（産業）

稼ぐ力分析（産業構造マップ（産業別特化係数））

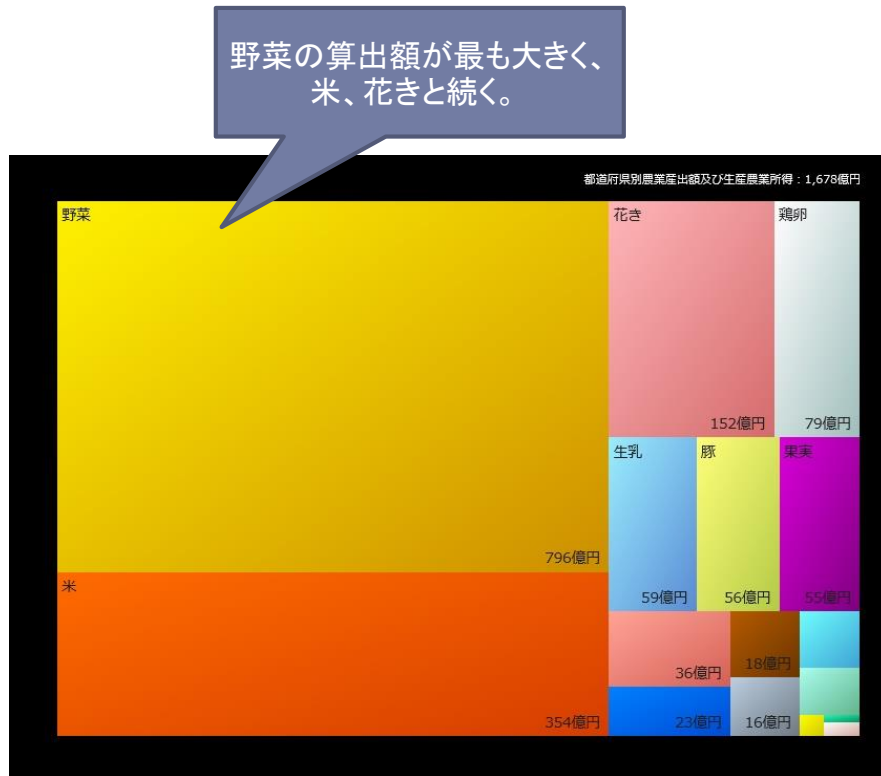


1-3 RESASでわかること

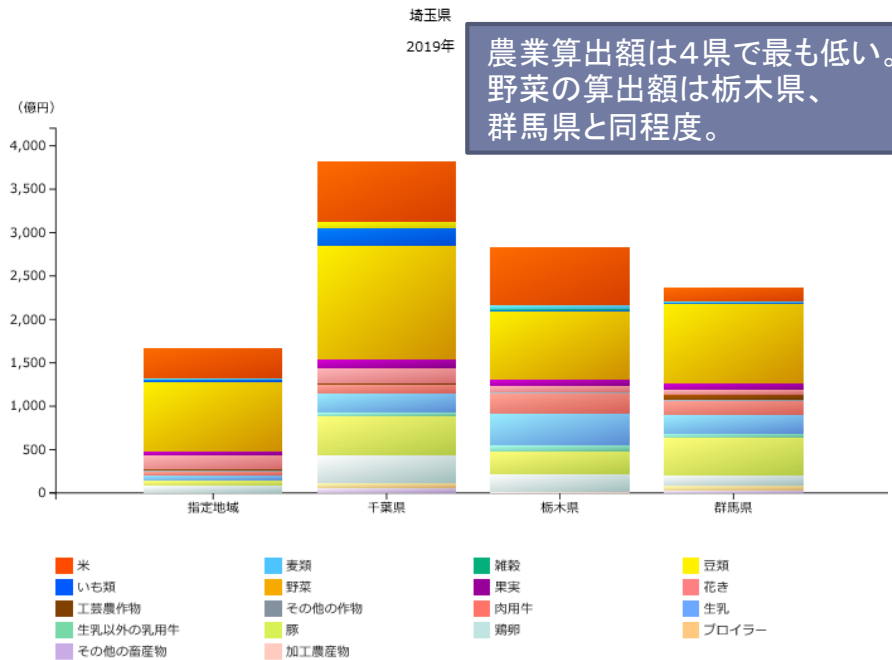
RESASによる埼玉県の概況（農業）

▶ 品目別農業算出額（産業構造マップ（農業の構造））

野菜の算出額が最も大きく、米、花きと続く。



品目別農業産出額



千葉県・栃木県・群馬県との比較

1-3 RESASでわかること

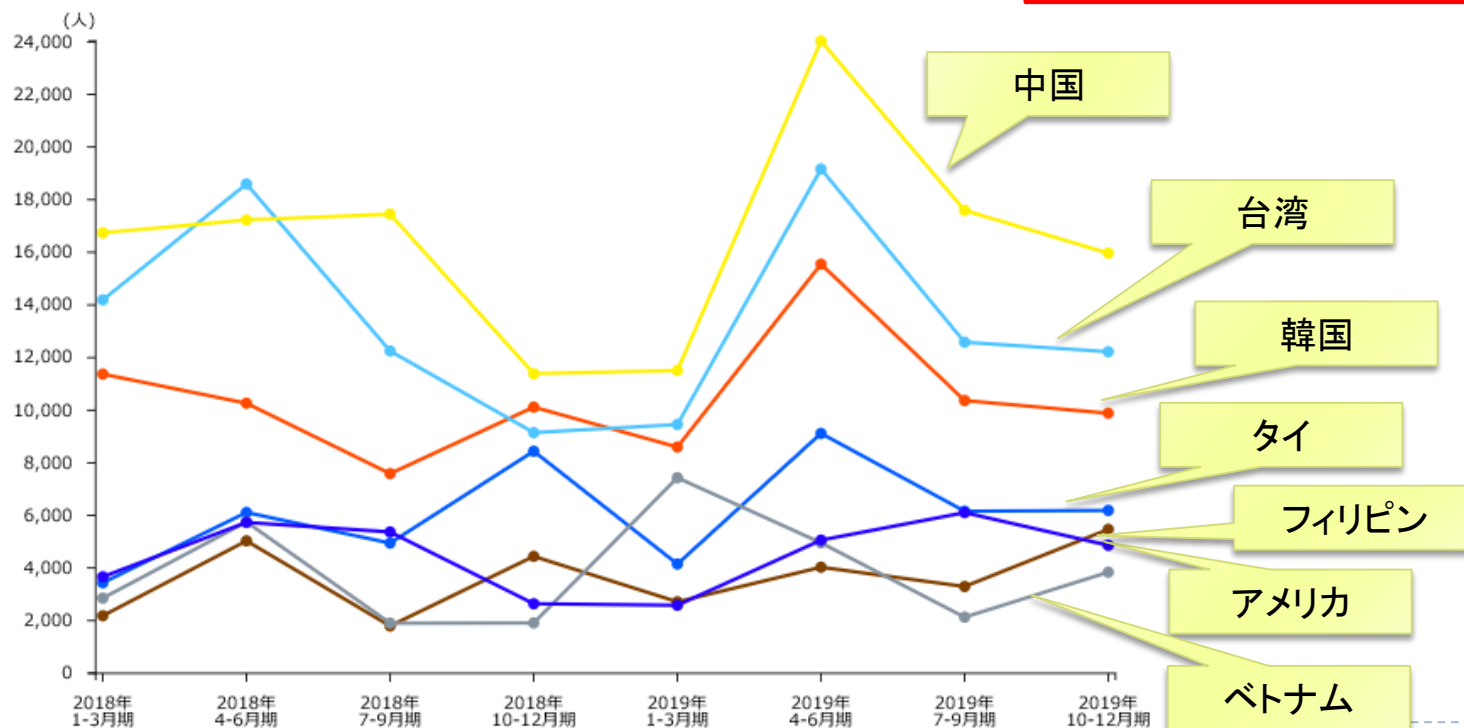
RESASによる埼玉県の概況（観光）

▶ 国・地域別訪問者数の推移（観光マップ）

国・地域別訪問者数の推移

埼玉県
2018年・2019年
すべての目的

アジア圏からの旅行者が多い。
年末年始や旧正月より、4～6月
に増加する傾向がある。



第2章 各マップの機能と 分析方法

2-1 マップ一覧

(令和3年9月現在)

1. 人口マップ

- 1-1. 人口構成
- 1-2. 人口増減
- 1-3. 人口の自然増減
- 1-4. 人口の社会増減
- 1-5. 新卒者就職・進学
- 1-6. 将来人口推計
- 1-7. 人口メッシュ
- 1-8. 将来人口メッシュ

2. 地域経済循環マップ

- 2-1. 地域経済循環図
- 2-2. 生産分析
- 2-3. 分配分析
- 2-4. 支出分析

3. 産業構造マップ

- <全産業>
 - 3-1-1. 全産業の構造
 - 3-1-2. 稼働力分析
 - 3-1-3. 企業数
 - 3-1-4. 事業所数
 - 3-1-5. 従業者数 (事業所単位)
 - 3-1-6. 付加価値額 (企業単位)
 - 3-1-7. 労働生産性 (企業単位)
- <製造業>
 - 3-2-1. 製造業の構造
 - 3-2-2. 製造業の比較
 - 3-2-3. 製造品出荷額等
- <小売・卸売業>
 - 3-3-1. 商業の構造
 - 3-3-2. 商業の比較
 - 3-3-3. 年間商品販売額
- <農業>
 - 3-4-1. 農業の構造
 - 3-4-2. 農業産出額
 - 3-4-3. 農地分析
 - 3-4-4. 農業者分析

<林業>

- 3-5-1. 林業総収入
- 3-5-2. 山林分析
- 3-5-3. 林業者分析

<水産業>

- 3-6-1. 海面漁獲物等販売金額
- 3-6-2. 海面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-3. 海面漁業者分析
- 3-6-4. 内水面漁獲物等販売金額
- 3-6-5. 内水面漁船・養殖面積等分析
- 3-6-6. 内水面漁業者分析

<雇用>

- 3-7-1. 一人当たり賃金
- 3-7-2. 有効求人倍率
- 3-7-3. 求人・求職者

4. 企業活動マップ

<企業情報>

- 4-1-1. 表彰・補助金採択
- 4-1-2. 創業比率
- 4-1-3. 黒字赤字企業比率
- 4-1-4. 中小・小規模企業財務比較

<海外取引>

- 4-2-1. 海外への企業進出動向
- 4-2-2. 輸出入取引
- 4-2-3. 企業の海外取引額分析

<研究開発>

- 4-3-1. 研究開発費の比較
- 4-3-2. 特許分布図

5. 消費マップ

- 5-1. 消費の傾向 (POSデータ)
- 5-2. From-to分析 (POSデータ)
- 5-3. 外国人消費の比較 (クレジットカード)
- 5-4. 外国人消費の構造 (クレジットカード)
- 5-5. 外国人消費の比較 (免税取引)
- 5-6. 外国人消費の構造 (免税取引)
- 5-7. キャッシュレス加盟店数 (ポイント還元事業)
- 5-8. キャッシュレス決済データ (ポイント還元事業)

6. 観光マップ

- 6-1. 目的地分析
- 6-2. From-to分析 (宿泊者)
- 6-3. 宿泊施設
- 6-4. 外国人訪問分析
- 6-5. 外国人滞在分析
- 6-6. 外国人メッシュ
- 6-7. 外国人入出国空港分析
- 6-8. 外国人移動関連分析

7. まちづくりマップ

- 7-1. From-to分析 (滞在人口)
- 7-2. 滞在人口率
- 7-3. 通勤通学人口
- 7-4. 流動人口メッシュ
- 7-5. 建物利用状況
- 7-6. 事業所立地動向
- 7-7. 不動産取引
- 7-8. 近距離移動時間分析
- 7-9. 国内移動時間分析 (準備中)

8. 医療・福祉マップ

- 8-1. 医療需給
- 8-2. 介護需給

9. 地方財政マップ

- 9-1. 自治体財政状況の比較
- 9-2. 一人当たり地方税
- 9-3. 一人当たり市町村民税法人分
- 9-4. 一人当たり固定資産税

凡例

赤字 : 2021年8月26日データ更新メニュー
 青字 : 2021年2月12日データ再編メニュー
 一部準備中のものあり

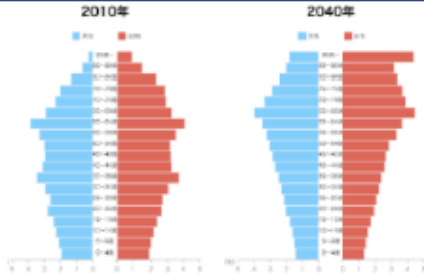
総メニュー数の推移

<スタート時>	<現在>
25メニュー (2015年)	80メニュー (2021年8月)
約358万PV (2015年度)	約752万PV (2020年度)
※現在公開中のメニュー数	

出典：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局作成資料より画像を転載

2-1 マップ一覧

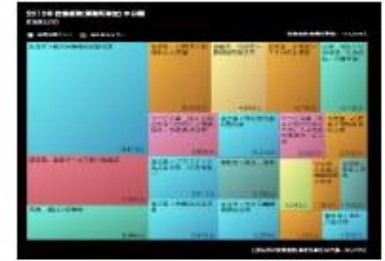
①人口マップ



②地域経済循環マップ



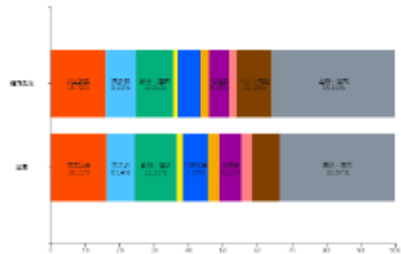
③産業構造マップ



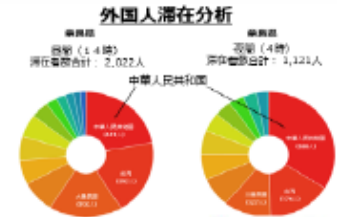
④企業活動マップ



⑤消費マップ



⑥観光マップ



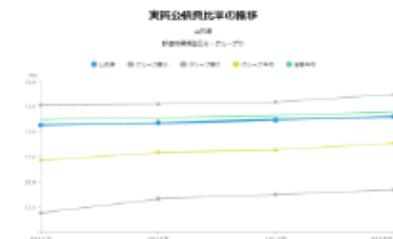
⑦まちづくりマップ



⑧医療・福祉マップ

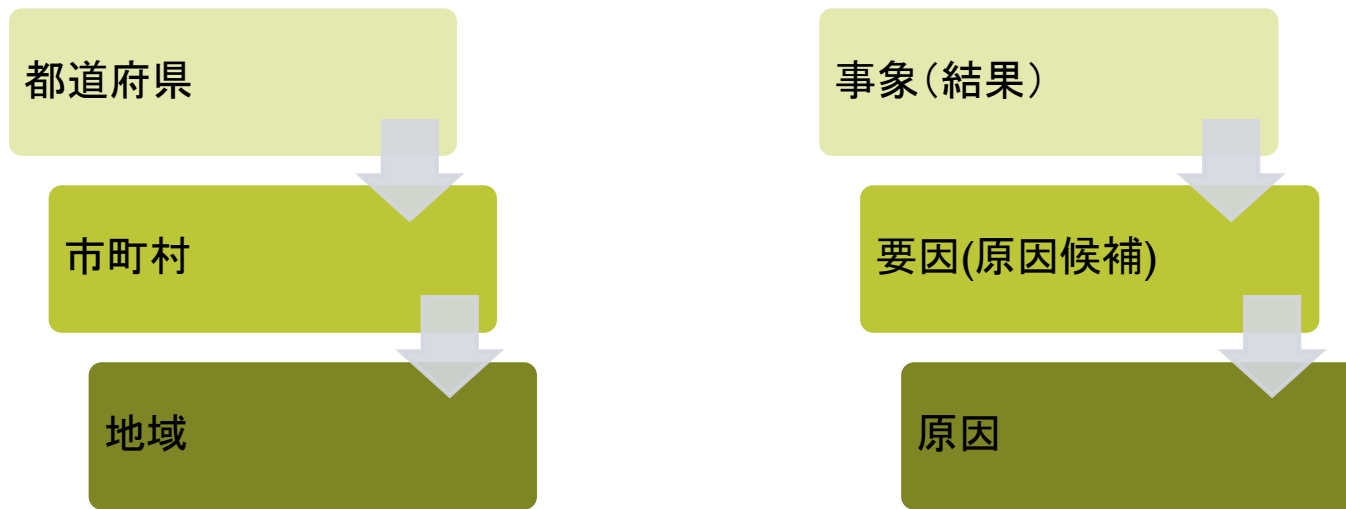


⑨地方財政マップ



2-2 各マップを使った分析方法

- ▶ 熊谷市の事例を用いて、各マップの基本的な分析フローに沿って解説する。
- ▶ 分析にあたっては、マクロの視点から徐々に分析対象を絞り込み、政策のターゲットとなる対象を抽出する。（一部例外あり）



- ▶ 詳細な操作方法はRESASのヘルプ画面から操作マニュアルをダウンロードできる。
- ▶ 本章で紹介する図面・グラフ等は注釈がない限り、地域経済分析システムから転載。



2-3 人口マップ

分析フロー

ステップ1

分析対象となる地域の年齢層別の人口推移の推計値を把握する。

ステップ2

自然増減及び社会増減が人口推移に及ぼす影響を把握する。

ステップ3

- 自然増減の影響が強い場合は、合計特殊出生率、女性人口の将来推移を把握する。
- 社会増減の影響が強い場合は、転出入が多い年齢層、転出入の多い地域を把握する。

使用する主な機能

- 人口構成
→人口推移
→人口ピラミッド 等

- 人口増減
→グラフを表示
→自然増減・社会増減の推移 等

- 人口の自然増減
→グラフを表示
→自然増減の推移 等
- 人口の社会増減
→From-to（定住人口）
→人口移動（グラフ分析） 等

2-3 人口マップ



フローに基づいて、実際にRESASで分析しましょう

2-3 人口マップ

ステップ1 人口構成（人口推移、人口ピラミッド）

- ▶ 熊谷市の人口は2000年をピークに、以降は減少。
生産年齢人口は1995年をピークに、以降は減少。
65歳以上の人口は2040年まで増加を続ける見込。
- ▶ 2045年には65歳以上が約40%となり、14歳以下の人口は10%を下回る見込。

ステップ2 人口増減（社会増減、自然増減）

- ▶ 1999年以降、人口減少。
- ▶ 2004年以降、自然増から自然減に転換。
- ▶ 2010年以降は社会増減より自然増減の影響が大きい。

ステップ3 自然増減（自然増減の推移）、社会増減（人口移動）

- ▶ 15～49歳の女性人口は1995年以降、減少を続けている。
- ▶ さいたま市、深谷市、静岡県浜松市への人口流出が多い。
- ▶ 5年間の年齢階級別の純移動数を見ると、20～24歳を中心とした若い世代が純減。



高齢者を支える体制の充実と、若者の転出抑制が課題

2-4 観光マップ

分析フロー

ステップ1

都道府県の宿泊施設の特徴、宿泊者の施設利用パターンから、都道府県の滞在特性を把握する。

ステップ2

市町村の宿泊者の居住地域、性別、宿泊日数から、市町村の滞在特性を把握する。

ステップ3

観光施設の注目度から、地域の観光需要、旅行者の来訪目的を推測する。

使用する主な機能

• 宿泊施設

→施設数の推移

→延べ宿泊者数（総数）の推移 等

• From-to分析（宿泊者）

→延べ宿泊者数（総数）の推移

→居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の推移 等

• 目的地分析

→目的地ランキング

→検索回数推移 等

2-4 観光マップ



フローに基づいて、実際にRESASで分析しましょう

2-4 観光マップ

ステップ1 宿泊施設（施設数・宿泊者数の推移）

- ▶ 埼玉県の宿泊施設はビジネスホテルが多いが、2019年に簡易宿所が急増した。
- ▶ 宿泊者のほとんどは日本人、宿泊者の多くがビジネスホテルに宿泊する。

ステップ2 From-to分析（宿泊者）（属性別・居住都道府県別）

- ▶ 熊谷市の宿泊者の約7割は大人（男性）。
- ▶ 参加形態は一人が最多、次に多いのは夫婦・カップル。家族や女性グループは少ない。
- ▶ 宿泊数は一泊が半数以上。
- ▶ 宿泊者の居住都道府県は県内が最多。関東地方からの宿泊者が多い。

ステップ3 目的地分析（目的地ランキング、検索回数推移）

- ▶ 2019年、熊谷ラグビー場の検索が急増。
- ▶ 自動車で熊谷市に来る観光客の目的地は、平日はゴルフ場、休日は温泉が多い。



ラグビーワールドカップ2019のレガシーの活用などによる、
ビジネス以外の県外観光客の拡大が課題。

2-5 産業構造マップ

分析フロー

ステップ1

付加価値額、雇用等の面から、企業単位の各産業の地域経済への貢献度を評価する。

ステップ2

付加価値額、雇用等の面から、事業所単位の製造業の各業種の地域経済への貢献度を評価する。

ステップ3

ステップ2で把握した産業の状況を周辺地域と比較し、地域特性を把握する。

使用する主な機能

• 全産業の構造
→付加価値額、事業所数、
従業者数 等

• 製造業の構造
→付加価値額、事業所数、
従業者数 等

• 製造業の比較
→ヒートマップ 等

※ 「企業単位」で集計した情報は、本社の所在地にまとめて計上されている。

2-5 産業構造マップ



フローに基づいて、実際にRESASで分析しましょう

2-5 産業構造マップ

ステップ1 全産業の構造

- ▶ 熊谷市の企業単位の付加価値額は約2,285億円。うち卸売業・小売業が最大。製造業だけで見ると、輸送用機械器具製造業が最大。
- ▶ 従業者数は、企業単位、事業所単位ともに卸売業・小売業が最大だが、次点は事業所単位では製造業なのに対し、企業単位では宿泊業・飲食サービス業。
- ▶ 企業数、事業所数は、ともに卸売業・小売業が最大。

ステップ2 製造業の構造（事業所単位）

- ▶ 製造業の付加価値額は約4,333億円。化学工業が製造業全体の半分以上を占める。
- ▶ 化学工業は事業者数、従業員数ともに少なく、労働生産性が高い。

ステップ3 製造業の比較

- ▶ 熊谷市の製造業の付加価値額（総額および事業所単位）は県内の近隣市町村と比べて高い。中でも化学工業の付加価値額は県内トップ。
- ▶ 従業者数は県北地域で最大だが、事業所あたりの従業者数は県内の隣接市町村より少ない。



化学工業が主要産業だが、市外の企業が多く、富の流出が課題。

2-6 ビジネス向け分析例

例：熊谷市内でワーケーション事業を始める

分析フロー

ステップ1

WORK 事業ターゲットとする業種を検討する。
例) 売上が良く、本社が市外にある産業

ステップ2

VACATION 観光面の「売り」を検討する。
例) 主な観光目的になっているスポット

ステップ3

LOCATION 施設の設置位置を検討する。
例) 観光スポットへのアクセス

使用する主な機能

・産業構造マップ 等

・観光マップ 等

・まちづくりマップ
→事業所立地動向 等

2-6 ビジネス向け分析例



フローに基づいて、すでにRESASで分析していました

ステップ1 産業構造マップ

ステップ1 全産業の構造

- ▶ 熊谷市の企業単位の付加価値額は約2,285億円。うち卸売業・小売業が最大。製造業だけで見ると、輸送用機械器具製造業が最大。
- ▶ 従業者数は、企業単位、事業所単位ともに卸売業・小売業が最大だが、次点は事業所単位では製造業なのに対し、企業単位では宿泊業・飲食サービス業。
- ▶ 企業数、事業所数は、ともに卸売業・小売業が最大。

ステップ2 製造業の構造（事業所単位）

- ▶ 製造業の付加価値額は約4,333億円。化学工業が製造業全体の半分以上を占める。
- ▶ 化学工業は事業者数、従業員数ともに少なく、労働生産性が高い。

ステップ3 製造業の比較

- ▶ 熊谷市の製造業の付加価値額（総額および事業所単位）は県内の近隣市町村と比べて高い。中でも化学工業の付加価値額は県内トップ。
- ▶ 従業者数は県北地域で最大だが、事業所あたりの従業者数は県内の隣接市町村より少ない。



化学工業が主要産業だが、市外の企業が多く、富の流出が課題。

ステップ2 観光マップ

ステップ1 宿泊施設（施設数・宿泊者数の推移）

- ▶ 埼玉県の宿泊施設はビジネスホテルが多いが、2019年に簡易宿所が急増した。
- ▶ 宿泊者のほとんどは日本人、宿泊者の多くがビジネスホテルに宿泊する。

ステップ2 From-to分析（宿泊者）（属性別・居住都道府県別）

- ▶ 熊谷市の宿泊者の約7割は大人（男性）。
- ▶ 参加形態は一人が最多、次に多いのは夫婦・カップル。家族や女性グループは少ない。
- ▶ 宿泊数は一泊が半数以上。
- ▶ 宿泊者の居住都道府県は県内が最多。関東地方からの宿泊者が多い。

ステップ3 目的地分析（目的地ランキング、検索回数推移）

- ▶ 2019年、熊谷ラグビー場の検索が急増。
- ▶ 自動車で熊谷市に来る観光客の目的地は、平日はゴルフ場、休日は温泉が多い。



ラグビーワールドカップ2019のレガシーの活用などによる、
ビジネス以外の県外観光客の拡大が課題。

ステップ3 まちづくりマップ



ステップ3を、実際にRESASで分析しましょう

2-6 ビジネス向け分析例

ステップ1 産業構造マップ

- ▶ 熊谷市は製造業の付加価値額が大きく、中でも化学工業が特に大きい。
- ▶ 化学工業は本社が市外にある企業が多いようだ。

ステップ2 観光マップ

- ▶ 熊谷市への観光目的は、ラグビー、ゴルフ、温泉。

ステップ3 まちづくりマップ（事業所立地動向）

- ▶ 熊谷市のスパリゾートは、熊谷スポーツ文化公園付近に存在。
＝ラグビーと温泉を両方楽しめるエリア
- ▶ 熊谷市西部にあるゴルフ場は、化学工業が複数存在する工業団地と比較的近い。
＝ビジネスと趣味を両立できるエリア



ラグビーや温泉、ゴルフを楽しみやすい場所にワーケーション施設を設置
化学工業の企業に対し、福利厚生の一環として営業

第3章 RESAS活用事例

3-1 データ分析支援

データ分析支援機能とは

- ▶ RESASに搭載されている数多くのデータ・分析グラフの中から、第二次産業・第三次産業等、**分析テーマに沿った代表的な分析画面を抽出**して順に表示します。
- ▶ 各分析画面には、分析の視点となる「**グラフの見方**」、全国傾向と比較した特徴等を示す「**示唆**」、分析結果から施策を検討するヒントとしての「**施策検討例**」等、分析を支援するための様々なコメントが表示されます。

分析テーマ

- ▶ 人口対策
- ▶ 第一次産業
- ▶ 第二次産業・第三次産業
- ▶ 日本人観光客
- ▶ 外国人観光客

3-1 データ分析支援



実際にRESASでデータ分析支援機能を使ってみましょう

3-2 授業モデル

授業モデルとは

- ▶ データに基づいて問題解決する能力を育むため、**中学生、高校生向けのRESASを取り入れた授業の教材**を提供。
- ▶ 育みたい能力（課題発見力など）、科目、授業時間、スタイル（個人、グループ）別のモデルが用意されている。

授業モデル例

高等学校 地理総合

「生活圏の調査と地域の展望」でのRESAS活用（全3時間）

人口や産業に関して類似している自治体について、福祉・医療・観光・産業のうちいずれかについてのデータを見つめ、地域における課題を探り、解決策を提案しよう。

論理的思考力 # 課題解決力 # 探究学習 # 地方創生 # 人口問題

高等学校 情報Ⅰ 社会と情報

データを根拠に意見を主張してみよう（全5時間）

データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解します。技能を身に付け、結果の表現を含めてこれらの方法を適切に選択し、実行し評価し改善することが身につきます。

情報活用力 # 人口問題 # データ分析 # 論理的思考 # 基礎

中学校 総合的な学習の時間 高等学校 総合的な探究の時間

地域の課題を発見し解決に取り組む探究学習
「〇〇（市）活性化プロジェクト」（全7時間（最長））

身近な地域に新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養います。課題発見、情報収集、整理、考察、分析、検証を通して論理的思考を身につけます。

情報活用能力 # 論理的思考力 # 課題解決力 # 探究学習 # 地方創生 # シンキングツール

高等学校 総合的な探究の時間

理系のための探究プログラム
～雇用/医療・福祉マップ 医療受給データの比較から課題設定の基礎を学ぼう～（全3時間）

2つのデータを比較から、さらなる情報の収集・整理・分析を行うことで、課題の設定の方法の基礎を学びます。

総合的な探究の時間 # 理数探究 # 整理・分析 # 課題意識 # 課題の発見

3-3 V-RESAS



V-RESASとは

- ▶ **新型コロナウイルス感染症 [COVID-19] が、地域経済に与える影響の見える化を行っているサイト。**

3-3 V-R E S A S

データ一覧

- ▶ 人流：地域の滞在人口、都府県をまたいだ移動
- ▶ 消費：決済データから見る消費動向、POSで見る売上動向
- ▶ 飲食：飲食店情報の閲覧数
- ▶ 宿泊：宿泊者数、居住地ごとの宿泊者数、宿泊動向
- ▶ イベント：イベントチケット販売数
- ▶ 雇用：求人情報数
- ▶ 企業財務：企業財務状況の動向（全国のみ）

※2020年1月頃からのデータを掲載。

データは1週間に1回程度の頻度で更新。

3-3 V-RESAS



実際にV-RESASを見てみましょう。

3-4 地方創成☆政策アイデアコンテスト



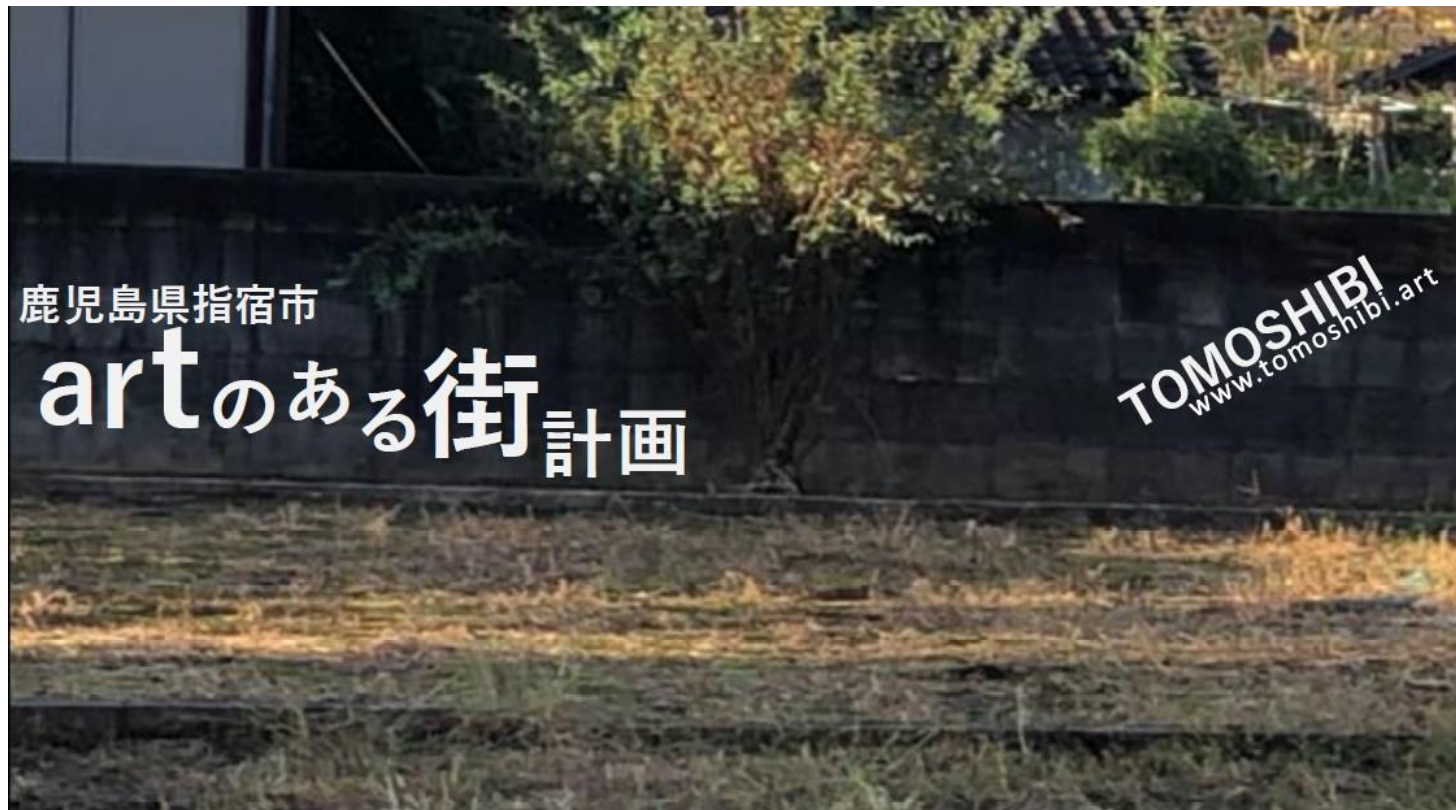
- ▶ RESASやV-RESASを活用した地域課題の分析を踏まえた、地域を元気にするような政策アイデアを募集するコンテスト
- ▶ 募集区分：高校生・中学生以下の部、大学生以上一般の部、地方公共団体の部
- ▶ 例年7月～10月の3か月程度が募集期間

3-4 地方創成☆政策アイデアコンテスト

事例紹介①

2020年度 地方公共団体の部（鹿児島県指宿市）

地方創成担当大臣賞



3-4 地方創成☆政策アイデアコンテスト

事例紹介②

2020年度 地方公共団体の部（山形県）

協賛企業賞



官民共同チーム「匠」 山本 泰弘／高宮 和香／岸 陽太／高橋 昌寛

3-4 地方創成☆政策アイデアコンテスト

事例紹介③

2019年度 高校生・中学生以下の部（岡山県倉敷市）

地方創成担当大臣賞

